

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	少年育成センター
	施策	青少年の健全育成		電話番号	087-839-2635
	基本事業	青少年健全育成の推進		事業実施主体	市
	事務事業	非行防止活動事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要
 非行防止活動事業と少年育成センター運営事業は、少年の健全な育成保護を図るという同一の目標であるため、平成 28年度から一つの事業を統合し、非行防止活動事業として、少年非行の早期発見・早期指導等を行い、青少年健全育成・非行防止活動の推進を図る。

29年度概要
 補導活動を充実させ、不良行為少年の補導人数減少に繋げる。また、小学校 4 年生を対象に情報モラル出前授業を実施するとともに、保護者にも啓発用パンフレットを配布して、少年のインターネット利用に係るトラブルの未然防止を図る。

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	----------	---------	-------------------


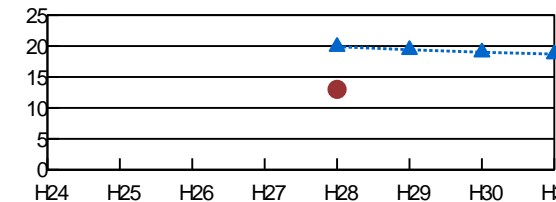

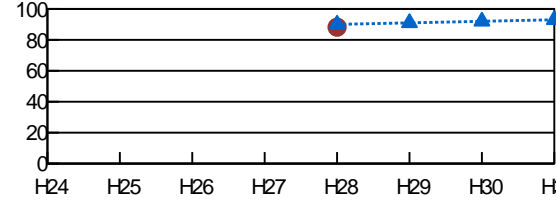
【事業の目的】

対象（何を）	市内の少年、高松市立小学校 4 年生（情報モラル教育に関する事業の対象）
意図（どのような状態にしたいか）	少年非行の早期発見・早期指導等を行うことにより、少年非行の減少を図るとともに、少年のインターネット利用に係るトラブルの未然防止を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
年間延べ補導回数	回			2,023	2,064	2,096
情報モラル出前授業参加人数	人			2,825	3,088	3,176

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
	少年人口千人当たりの補導人数	人	目標値			19.9	19.4	19
			実績値			13		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 達成できている	 （目標達成度）		 （達成度） 134.7%				35点
	児童の情報モラルについての理解度	%	目標値			90	91	92
			実績値			88.2		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 概ね、達成できている	 （目標達成度）		 （達成度）				34点

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	36,182	37,666	55,316	53,995
（事業費）	[円]	28,801	29,989	31,763	30,442
（職員人件費）	[円]	7,381	7,677	23,553	23,553

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

関係団体、各地域と連携して補導や万引き防止キャンペーンなど広報啓発の充実を図っている。今後も、関係団体、地域と連携して、地域で子どもを見守ることが重要である。また、インターネットに関しては、ネットトラブルとネット依存の問題があり、情報モラル出前授業を実施することで、インターネットに係るトラブルの未然防止を図っている。今後は、ネット依存の問題について取り組んでいくことが課題である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

関係団体、各地域と連携を図り、引き続き、地域で子どもを見守っていくとともに万引き防止など少年非行の早期防止に努める。情報モラル恐育については、出前授業を実施するとともに、児童生徒自身がインターネットやゲーム機等の利用について考え、自己管理能力に繋げる。